

常時同時配信・見逃し番組配信サービスの開始について

サービス名称：NHKプラス

NHKプラスの「プラス」には、ユーザーの方々に、**新しいプラスの価値**を体験して頂きたい、という思いを込めています。

- NHKの番組を、テレビの前になくても、いつでもどこでも何度でも視聴でき、日々の生活をより豊かにわくわくできる、**プラス**。
- いざという時にいつでもどこでも災害情報を知ることができて、日々の生活がより安心になる、**プラス**。
- ネット空間においても「情報の社会的基盤」として、信頼できる、より深い情報に触れることができる、**プラス**。
- さまざまなNHKの番組を通して新たな世界や、多様な考え方に出会える、**プラス**。

こうした思い、願いを込めました。



「NHKプラス」のサービス概要

- 常時同時配信・見逃し番組配信は**放送の補完**として実施します
- 受信契約者と生計を同一にする方は、**追加負担なく利用**できます

開始時期

2020年4月1日～ 午前6時から翌日午前0時まで1日18時間程度
※ 3月1日から試行的に実施 午前7時から翌日午前0時まで1日17時間程度

配信する放送波

地上2波(総合テレビ、教育テレビ)
※ サービス開始時は、南関東エリア(埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県)を対象とした放送を全国に配信

サービス内容

放送の同時配信
見逃し番組配信(放送終了時刻から起算して7日間)

“ふたかぶせ”

番組単位(権利確保ができていないもの)のふたかぶせ
※ ニュースは映像単位でふたかぶせ

配信ビットレート

最大1.5Mbps(SD画質相当)
※ 回線の状況やアクセス集中等で変化あり

音声・字幕

音声2ch(二か国語、解説放送等あり)・字幕あり

提供対象地域

日本国内

認証

利用申込みをいただき、受信契約と照合してサービスを提供します



PC



モバイル

※ テレビ一体型端末向けのサービスは当分の間実施しません

「NHKプラス」の利用方法について

1

まずはアクセス

案内ページへアクセスするか
アプリをダウンロードしてください

●案内ページへアクセス



●アプリをダウンロード



スマートフォンをかざして
QRコードを読み取ってください

2

利用申込み

申込み画面から必要な情報を
入力してください

申込み画面

規約同意

入力してください

- メールアドレス
- 放送受信契約情報
 - ・受信契約者氏名
 - ・住所
 - ・電話番号(任意)
 - ・お客様番号(任意)

設定してください

- ログインID
- パスワード
- 秘密の質問と答え

利用申込み



受信契約者

利用申込み直後から
視聴できます!

3

確認コード入力

受信契約の確認がとれ次第、
契約住所にハガキが届きます



ハガキの案内に沿って、入力画面で
確認コードを入力します



確認コード送信

利用登録完了



受信契約者

お手続きは契約者ご本人様より
お願いいたします。

放送受信契約を確認できない場合、
同時配信の画面に受信契約のご確認を
お願いするメッセージが表示されます。
(災害時などにはメッセージが外れます)
また見逃し番組配信はご視聴いただけません。



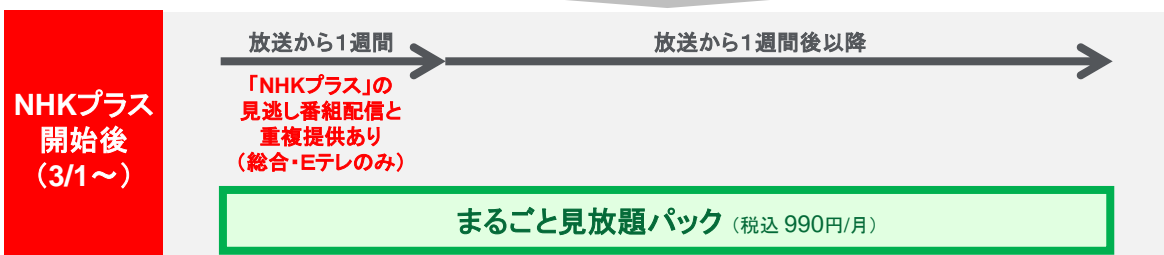
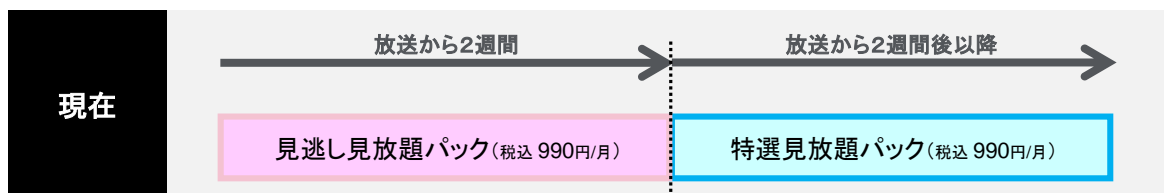
※画面はイメージです

1つの放送受信契約に対し、発行できるIDは1つです。
なお、1つのIDで同時に5画面(ストリーム)までご視聴いただけます。



「NHKプラス」開始に伴う、NHKオンデマンドのサービス変更

- 常時同時配信・見逃し番組配信の開始にあわせ、NHKオンデマンド(NOD)では「見逃し」「特選」の区分を見直し、より魅力ある一つのサービスにします。
- 新しい「まるごと見放題パック」で、現在の「見逃し見放題パック」と「特選見放題パック」、両方の番組を視聴できるようになります。
- 配信期間はこれまで通り、番組により放送から2週間または1年(さらに延長する場合あり)です。



インターネット活用業務実施計画について

「実施計画」とは

- ▶ 毎事業年度のインターネット活用業務の具体的内容を定めるもの
→ 経営委員会が議決、総務大臣に届け出るとともに公表（従来はNHKが自主的に策定、改正放送法で新たに定められた）

記載事項

- ▶ 「放送法施行規則」で定められている事項
→ 業務の種類・内容・実施方法、費用に関する事項、料金その他の提供条件、苦情その他の意見の受付及び処理に関する事項、区分経理の方法 等
- ▶ 「実施基準」で定めている事項
→ 放送法の努力義務に関する取り組み、ユニバーサル・サービスへの取り組み、国際インターネット活用業務の取り組みの具体的内容について
→ 「NHKプラス」の一つのIDで利用できるストリーム数
→ 2号有料業務の利用料金 等

2019年度「実施計画」のポイント（2020年1月15日～3月31日）

- ▶ 「NHKプラス」（常時同時配信・見逃し番組配信）の2019年度中の試行的実施について（1日17時間程度）
- ▶ NHKオンデマンドのサービス変更について 等

2020年度「実施計画」のポイント

- ▶ 2020年度の「NHKプラス」について（1日18時間程度）
- ▶ オリンピック・パラリンピック東京大会での取り組みについて（費用上限2.5%対象外）
→ 特設サイト「東京2020オリンピック・パラリンピックサイト」を中心に、競技の映像・音声のリアルタイム提供やハイライト動画等の提供、字幕・手話・多言語展開などのユニバーサル・サービス等を提供
- ▶ 地方向け放送番組の提供、他の放送事業者が行う配信業務への協力について 等

【2020年度 受信料財源インターネット活用業務 費用明細表】

(億円)

区 分	国 内 インターネット 活用業務			国 際 インターネット 活用業務	(*) 3号業務	合 計	東 京 オリンピック・ パラリンピック
	常時同時 配信等 業 務	ニュース 災害情報 の発信等					
国内放送番組等 配 信 費	105.9	44.8	61.0	-	0.02	105.9	17.7
国際放送番組等 配 信 費	-	-	-	21.7	0.08	21.8	-
共通管理費等	1.6	0.6	1.0	0.2	-	1.9	0.6
人 件 費	25.2	3.0	22.1	3.0	-	28.3	0.9
減 価 償 却 費	11.9	6.2	5.6	0.3	-	12.3	0.08
合 計	144.8	54.8	89.9	25.4	0.1	170.4	19.4

170.3 (2.4%)

費 用 上 限	174.3 (2.5%)	1.0	-	20.0
---------	--------------	-----	---	------

() は受信料収入に占める比率

(※) 大規模災害等の緊急時の情報提供や国際放送の視聴機会拡大等のために必要と認める場合に、インターネット配信業者に放送番組等を提供する業務